

船舶事故等調査報告書

平成23年8月25日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010広第218号	
事故等種類	衝突（陸上クレーン）	
発生日時	平成22年10月26日 15時00分ごろ	
発生場所	広島県尾道市尾道糸崎港 尾道灯台から真方位053° 280m付近 （概位 北緯34° 24.2′ 東経133° 11.9′）	
事故等調査の経過	平成22年12月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 第一金生丸、198トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 132141、個人所有</p>	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	本船 船尾マストが損傷 陸上クレーン なし	
事故等の経過	本船は、船長ほか2人が乗り組み、鋼板約350tを積載し、尾道糸崎港で離岸作業中、風潮流の影響を受けて圧流され、平成22年10月26日15時00分ごろ、船尾マストが陸上クレーンに接触した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北、風力 4、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の中央期、潮流 約2ノットの西流	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 なし あり 本船は、尾道糸崎港で離岸作業中、風潮流の影響を受けて圧流されたことから、船尾マストが陸上クレーンに接触したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、尾道糸崎港で離岸作業中、風潮流の影響を受けて圧流されたため、船尾マストが陸上クレーンに接触したことにより発生したものと考えられる。	